

(別紙5)

補助事業番号 27-4-006  
補助事業名 平成27年度 被災者や被災地が行う復興活動 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人アート・アンド・パブリック協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

震災から5年が経ち記憶の風化が叫ばれる中、『忘れない』ことが一番の防災になると考え、また『希望』が復興の足がかりになると考え事業を実施している。

願いを込めた桜風船づくりワークショップや桜花火を打ち上げることにより、鎮魂だけではなく未来に向けての希望を育んでいる。また、桜バトンレター（ビデオレター）を植樹する学校でつなぎ、子どもたちの新たなつながりを作る。植樹した桜がセーフティラインとなって、後々子どもたちを津波から守る道標となることを目指している。また報告事業は、被災地以外で『思い出す＝忘れない』機会をつくり、社会全体に防災への意識を高める役割をもつ。

植樹した桜と関連の事業が、恒久的な『忘れない』ための仕掛けとなる。

(2) 実施内容

①桜3.11学校プロジェクトの実施

27年度、桜3.11学校プロジェクトは宮城県石巻市立石巻小学校（6/4）、福島県新地町立駒ヶ嶺小学校（11/7）、宮城県岩沼市立玉浦小学校（3/3）で実施した。関連事業は、普段では経験できないプロの美術家によるワークショップを学校の要望に応じて実施した。引き続き、毎年3カ所での実施を計画している。（28年度は青森県八戸市立多賀小学校他2カ所を予定）

・石巻小学校



・駒ヶ嶺小学校



・玉浦小学校



・学習院女子大セミナー



(別紙5)

HP : AAPA (<http://www.aapa-japan.com/ja/>)

- ・ HP : Sakura 3.11 Project (<http://sakura-art311.net/>)
- ・ FB: Sakura 3.11 School Project (<https://www.facebook.com/sakura311school/>)

## ②桜3.11学校プロジェクトの報告

被災地の活動に留まらず、広くこの活動を知ってもらうことも「忘れない」事の一つと考え各地での報告事業を行っている。6月27日学習院女子大学でのアートマネジメント国際セミナーは、福島県いわき市の松本校長を迎え被災後の福島の現状と本プロジェクトを始め復興事業について学生を初めて多くの参加者（約100人）と考える機会となった。11月14～15日のイベントでは多くの人に事業を知ってもらう機会となった。

また、年度末に27年度実施3回分をまとめた小冊子を作成し関係者支援者に配布した。

## 2 予想される事業実施効果

震災から5年が経ち一層震災の記憶と関心が薄れる中、改めて『忘れない』ことへの取り組みや仕組みが重要になっている。『忘れない』ことは備えることにつながると考え、今後想定される南海トラフ大地震や火山噴火等への防災意識の向上に役立つと考える。

また、被災地は未だ先の見えない復興の途中にあることから、未来への希望を育む事業は今後一層必要になると考える。その意味から、対象者をこども達とした本事業の役割は大きいと考える。また、こどもが元気になることより地域社会への広い波及効果も期待される。

AAPAメンバーの協力を得ながら幅広い活動と成果を期待することができるのも大きな利点と考える。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

平成27年度事業報告冊子 (A4カラー18ページ)



(別紙5)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

HP : AAPA (<http://www.aapa-japan.com/ja/>)

・ HP : Sakura 3.11 Project (<http://sakura-art311.net/>)

#### 4 その他 広報資料

・ 平成27年度マスコミ取材一覧

	局名	分類
石巻小学校	河北新報社	新聞
	宮城テレビ	テレビ
	石巻日日新聞	新聞
	三陸河北新報社	新聞
駒ヶ嶺小学校	福島民報社	新聞
玉浦小学校	宮城テレビ	テレビ
	仙台放送	テレビ
	河北新報社	新聞
	エフエム大阪	ラジオ

・ 『HighlightingJAPAN』 (内閣府が発行する海外向け政府広報誌)

日本政府や総理官邸などの英語版ウェブサイトでも紹介があるほか、雑誌としても全国の主要な国際空港、大学、大使館、外国人観光案内所、政府の海外イベントなどで配布されている。3月号で特集「東日本大震災から5年」を組むにあたり、復興への取り組みとして、桜3.11学校プロジェクトが紹介された。(表紙は石巻小の写真：越後谷出撮影)

[http://dwl.gov-online.go.jp/video/cao/dl/public\\_html/gov/book/hlj/20160301/index.html](http://dwl.gov-online.go.jp/video/cao/dl/public_html/gov/book/hlj/20160301/index.html)



(別紙5)

5 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般社団法人アート・アンド・パブリック協会  
(イッパソシャダシホウジソアートアンドパブリックキョウカイ)

住 所 : 〒169-0051  
東京都新宿区西早稲田2-14-15 松川BOX A棟

代 表 者 : 理事長 清水敏男 (シミズトシオ)

担 当 部 署 : 仙台事務局 (センダイジムキョク)

担 当 者 名 : 事務局スタッフ 村上真理子 (ムラカミマリコ)

電 話 番 号 : 070-6955-5539

F A X : 022-221-4111

E - m a i l : [marikom@zb.cyberhome.ne.jp](mailto:marikom@zb.cyberhome.ne.jp)

U R L : <http://www.aapa-japan.com/ja/>